

# 海況速報

平成8年度 第3号 (通算 No.51)  
平成8年8月22日  
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

## 7月下旬～8月上旬の海況

### 【日本海海域】

前回（6月）に引き続き岩内湾沖に暖水渦（中心：200m層水温6℃以上）があります。また、この渦の北側、積丹半島北西方向の北緯43度30分に冷水渦（100m層水温3℃以下）が発生しました。

暖水渦・冷水渦のあるところを除いて水温について見ると、表面水温は全域で累年平均(\*1)に比べほぼ-2℃になっています。100m層・200m層では北緯42度30分以上で累年平均に比べ0～-1℃の範囲が多くなっています。50m層では、北緯42度30分以上では累年平均に比べ-1～-3℃の範囲が多くなっていますが、天売島北西沖では-4.7℃の海域があります。北緯41度30分線では、200m層水温は累年平均並で、50m層・100m層では東経138度50分を境に沖（西）側では-1～0℃、岸（東）側では0～+1℃の範囲が多くなっています。したがって、現在水温は北海道沖で全域的に低い状態にありますが、これから本道西岸を北上する津軽海峡西沖の対馬暖流の水温は表面を除いて累年平均並に近い状態にあります。

余市における沿岸水温（旬平均）は、6月下旬から8月中旬まで、平年値に比べ-0.5～-2.7℃の範囲にあり、平年よりやや低い状態からかなり低い状態の中で推移しています。

### 【道東太平洋海域】

北緯41度以北、東経144度以東では前回（6月）同様、100m層水温が5℃以下の親潮に広く覆われていますが、南側の海域では5℃以上の水の範囲が少し広がりました。襟裳岬南方では、前回同様に暖水域が南北に広がり、親潮の主流部は依然この暖水域の東側を南下しています。ただ、この暖水域は前回よりも少し西側に移動したため、親潮主流部の南下位置も同様に、前回の東経144度30分あたりから今回は東経144度00分くらいまで西側に移動しています。

水温は、累年平均に比べ、200m層では累年平均並ですが、100m層で0～-1℃、50m層で0～-5℃、表面では-1～-6℃の範囲内にあるところが多く、表面に近いほど水温変動が大きくなおかつ累年平均からの負の偏差が大きくなっていて、低水温の状態です。

襟裳岬西部沿岸域では表面水温が8℃台で道東海域では最も低い水温となっています。ここでは累年平均に比べ約-7℃と非常に低い状態です。

### 【道南太平洋海域】

100m層水温を見ると、5℃以下の海域がなくなったことから、親潮の影響が弱まり、津

軽暖流水の影響が強くなっています。また、100m層水温で10°Cの線が浦河沖の北緯42度近くまで北上しているところから、津軽暖流は渦モード(\*2)になりつつあるようです。

水温について見ると、浦河南東方向の観測線の各層では累年平均に比べ、道東の親潮の影響が残る浦河沿岸では0~-3°C、それ以外では0~+2°Cの範囲内にあるところが多くなっています。東経141度20分線では累年平均に比べ、恵山岬より北の海域では、200m層で約+1.5°Cから表面で約-1.5°Cへと表面に近いほど負の偏差が大きくなっています。恵山岬より南の海域では、50m層以深では累年平均並ですが、表面では累年平均に比べ約-2.5°Cとなっています。

### 【オホーツク海海域】

前回（6月）そして前年同期（平成7年8月）に宗谷海峡東部から知床岬沖まで明瞭に見られた表面の冷水帯が今回は断続的にしか形成されていません。

水温について見ると、全域で各層とも、累年平均に比べ0~-2.5°Cの範囲に入るところが多く、前回（6月）同様水温の低い状態が続いています。特に100m層では、知床半島の付け根の沿岸よりのところで沖合の冷水域が岸側に張り出し、累年平均に比べ-6.7°Cとなっています。また、同じ100m層で、紋別沖でこの深さだけ暖流の幅が広がり、北緯44度50分、東経143度30分では累年平均に比べ+4°Cと、全域的に負の偏差がほとんどの中では際だった海域となっています。

---

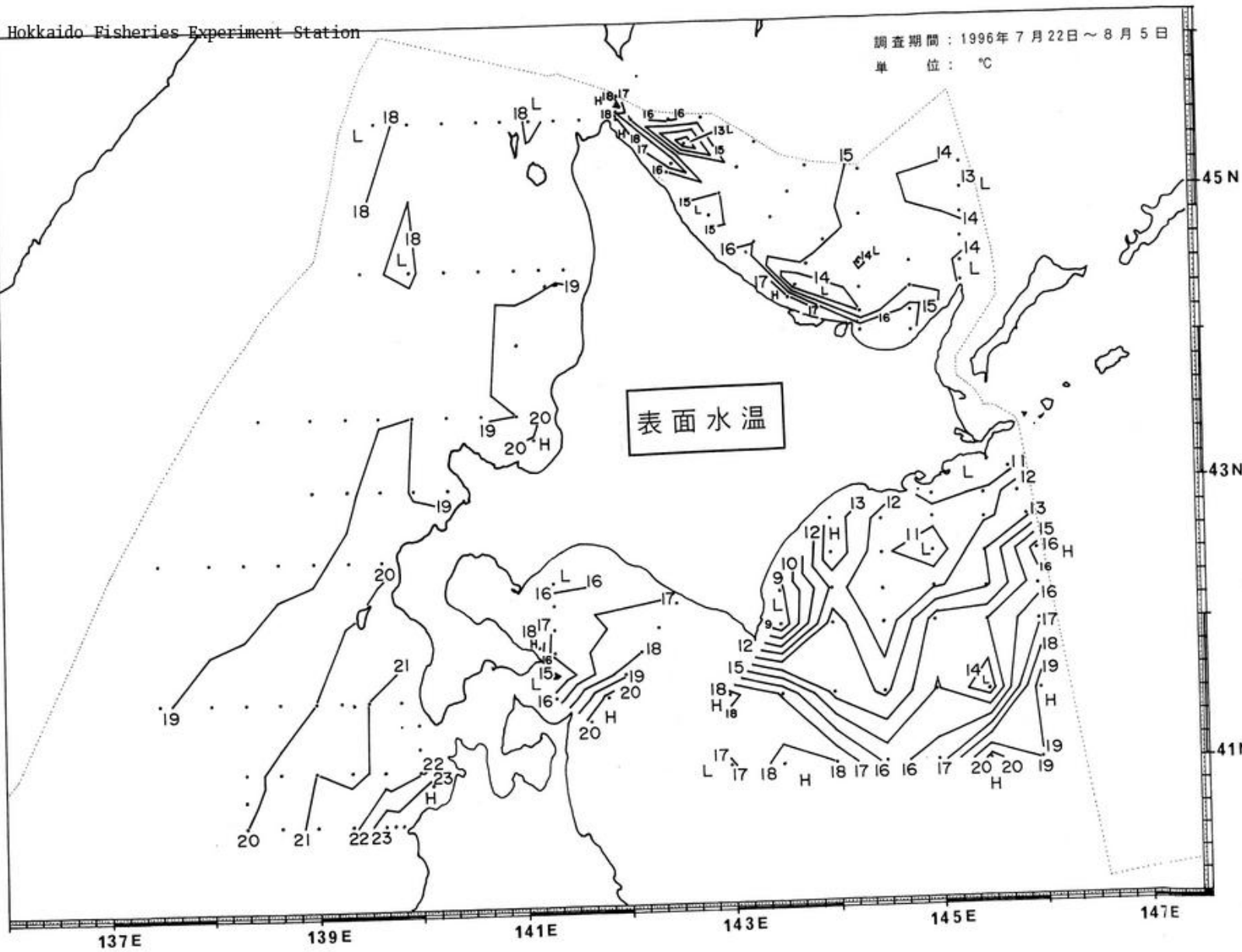
	資 料	〔観測期間〕
青森水試（東奥丸）	平成8年8月1日	～同8月2日（東北日本海海域）
稚内・網走水試（北洋丸）	平成8年7月29日	～同7月31日（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成8年8月1日	～同8月5日（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成8年7月22日・同7月25日	（道南太平洋海域）
函館水試（金星丸）	平成8年7月31日	～同8月1日（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	平成8年7月29日	～同8月3日（道西・道北日本海海域）

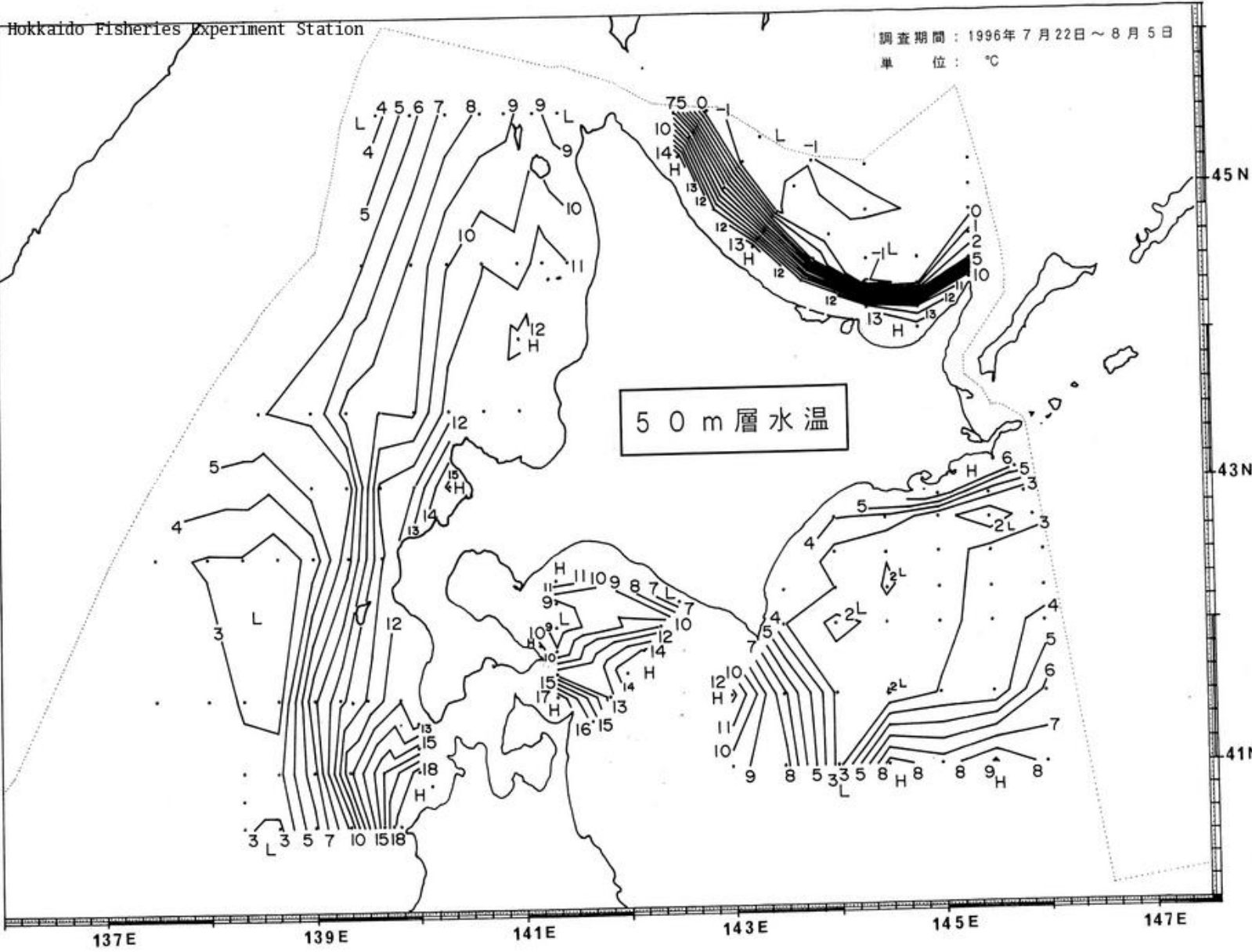
---

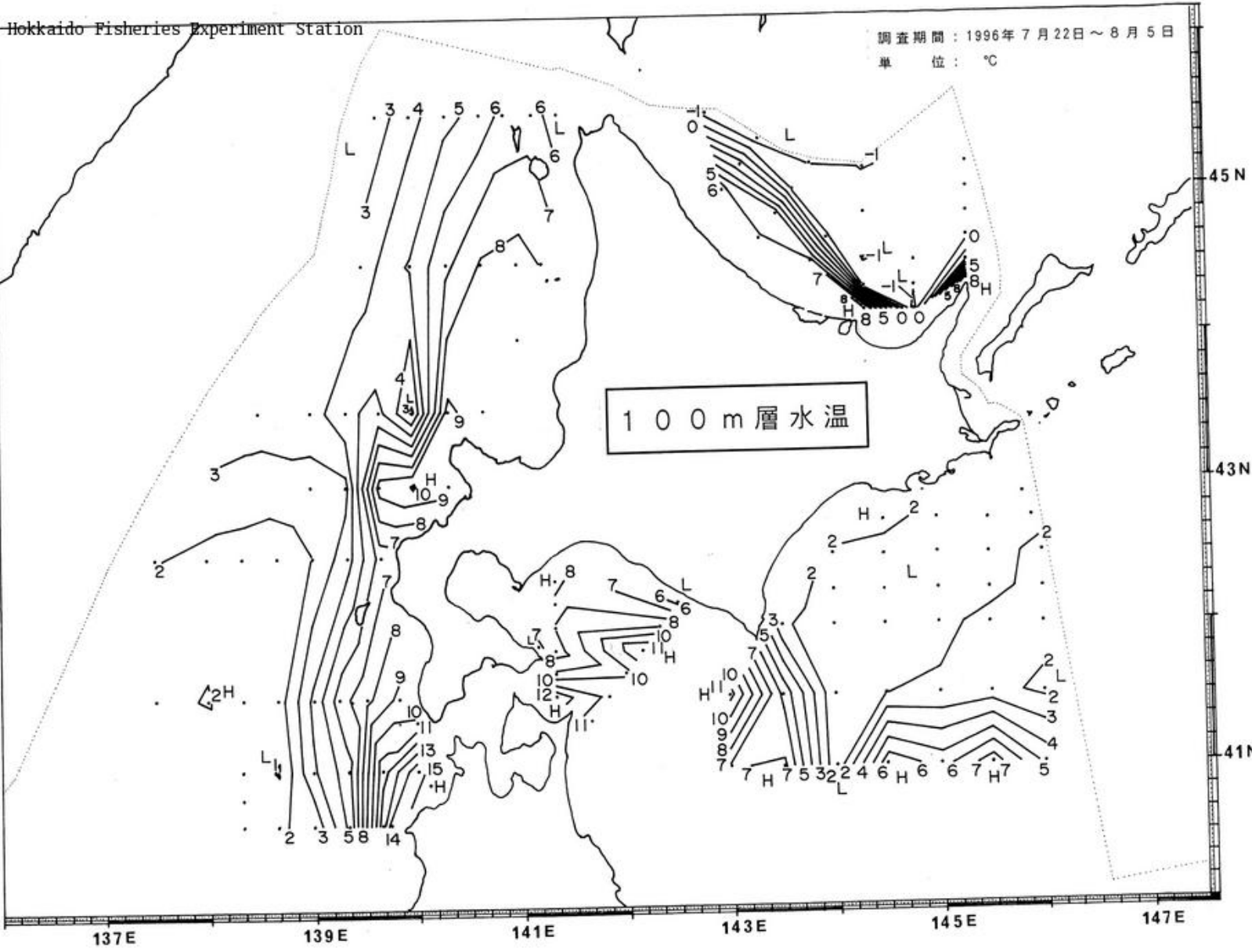
\*1: 平成元(1989)年～平成7(1995)年までの平均値を使用しました。

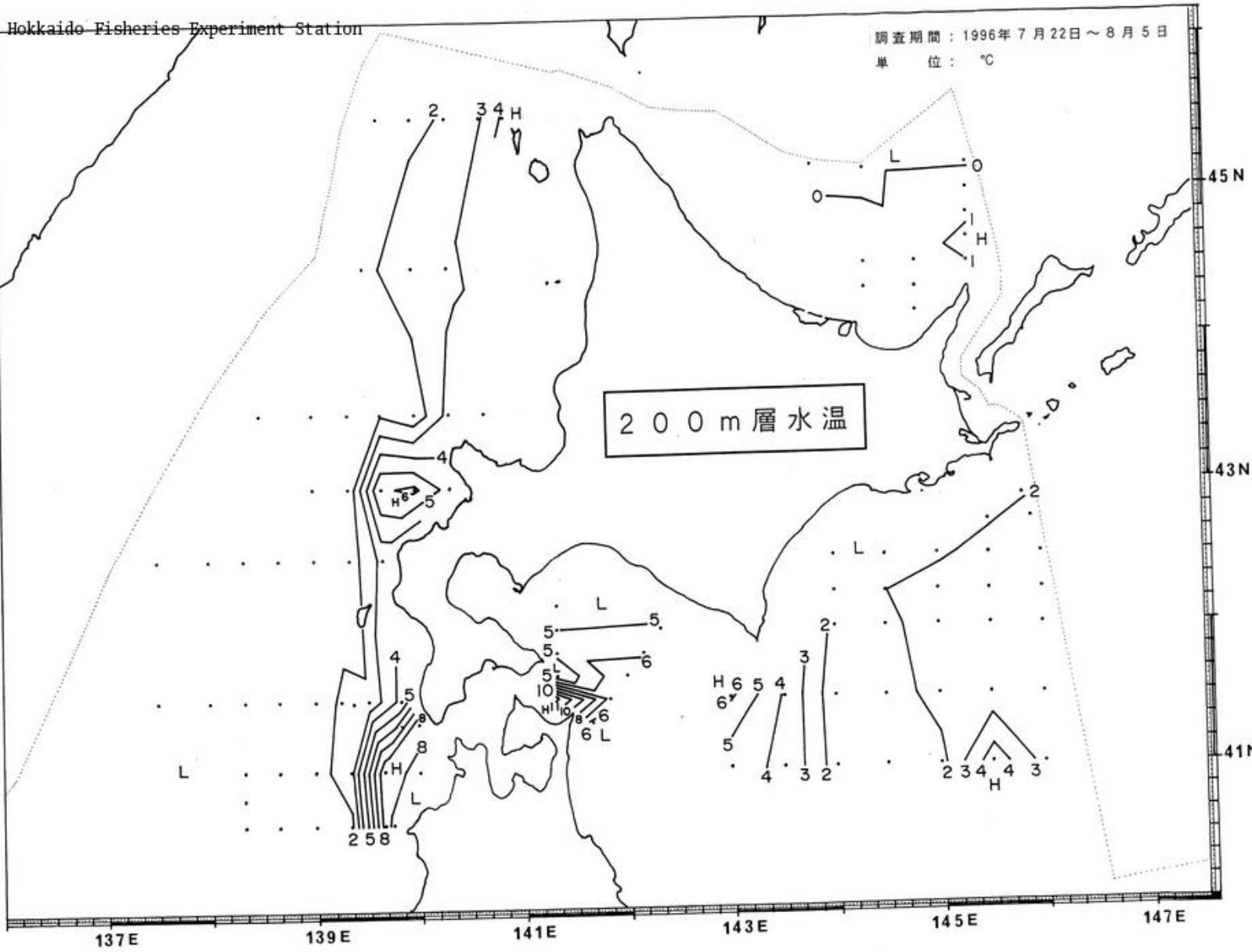
\*2: 津軽暖流が北海道沿岸近くまで大きく蛇行してから三陸方向へ流れる状態。

(中央水試 海洋部)









200m層水温

137E

139E

141E

143E

145E

147E

45N

43N

41N